



「経営は事業で成功して50点、承継までできて100点です」。当社の経営コンサルティングでは、創業時から一貫してこのように提言してきました。経営者にとって事業承継、すなわち会社存続は、それほど難しい仕事なのだと理解してもらいたいのです。

▼事業承継の経営技術

会社の運命は存続、売却、廃業、倒産の4つの道しかありません。倒産はともかくとして、税制との関係の中で事業承継をどう考えるかが、経営者には問われています。承継に成功して長い歴史を

組織の承継」の3つがそろって発揮されることです。

だからコンサルティングをお引き受けする際、経営者には、厳しい言い方ですが、

「いつまで社長をされるつもりですか」とあえて尋ねます。次の時代を創るのは、現

これが、私どもの責任である」と自覚しています。そして、合わせて、5つの承継メソッドを提供します。

▼5つの承継メソッド

まず、後継者自身への育成プログラム。会社をつぶさな

ビルディング手法、「ジュニアボード（諮問機関）経営」の導入です。特に近年は経営環境の変化が激しく、「番頭さん」のような存在に頼るだけの承継には限界があります。だから後継者が自身の経営チームを立ち上げる必

計ですから、事業や組織づくりなど、企業の将来像を見据えた経営計画こそが、必要だと考えています。また事業戦略を支援するために、様々な成長ビジネスを視察する「戦略ドメイン研究会」を運営しています。

事業承継をワンストップで支援する

刻んでいる企業の多くが、「事業承継は経営技術」と考えています。逆に失敗する企業は、承継の準備を怠り、情緒的にとらえがちです。

事業承継の経営技術とは、「資本の承継、事業の承継、

社長の責任で、後継者を決めない経営者は、無責任なのです。身内や社内でのようなことを言う人はいないでしょうが、プロのコンサルタント（ビジネスドクター）として、耳に痛いことも進言する

い、経営理念を追求する、次の社長を決めるという経営者必須の帝王学を指導する「後継経営者スクール」を受講してもらいます。

第2に、後継者とともに次代の経営を支えていくチーム

要があるのです。第3は、「中期経営計画の策定」です。設備投資や税務対策といった資本政策も重要です。それらに加えて、事業や組織の戦略策定も大切です。事業承継は中長期的な設

第4のメソッドは中期経営計画を更に具体化する「承継カレンダー」の策定です。10年後の組織、役員・幹部社員の年齢や資本政策などをカレンダー形式で落とし込みます。第5のメソッドは当社だけ

ではなく、金融機関や会計事務所など、他の各機関と協力して事業承継を後押しできる「ネットワーク体制」の構築です。全国約90の金融機関と提携して、資金面でのバックアップに力を入れています。全国約40の会計事務所、中小企業投資育成会社とも連携して、事業承継をあらゆる面から支援する体制を整えています。ときにはM&A（買収・合併）に関するアドバイスも提供しています。

全国のタナベネットワークを駆使して、企業経営の多くの課題に寄り添い、事業承継をワンストップで支援しているのです。

▼承継は最大の事業戦略

事業承継という仕事は、大半の経営者にとって人生に一度きりの決断です。私どもは半世紀以上に渡る多くの経営コンサルティングを通じて臨床研究を重ね、成功した事例に共通するメソッドや、失敗につながる原因を防止するノウハウを多数蓄積しています。

確かに経営者は事業のプロです。しかし事業承継に関しては、優秀な経営者が必ずしも的確な判断を下せるとは限りません。トップという経営資源が交代する承継は、最大の事業戦略でもあるのです。

▼100年経営に挑む

「会社はつぶれるようにできている」。私は1000社以上の会社を経営アドバイスしてきました。そのうち約300社が企業再生です。それらの根本的な原因が、事業承継の失敗にあるケースが多いことに驚きます。

長寿経営の秘けつは、社長より事業、事業よりも会社の寿命を長くすることなのです。事業承継は、会社が変化できるチャンスでもあります。永続発展し、100年続く会社をつくるためにも当社のワンストップ支援を活用していただきたいですね。

タナベ経営の
事業承継
ワンストップ
支援

5つの承継メソッドの詳細
資料請求は
http://www.tanabekeiei.co.jp

タナベ経営
検索

経営企画室 TEL:06-7177-4011
Eメール:ir@tanabekeiei.co.jp